

●ぶらり嵐山

前回検証結果	継 続 ・設置目的をより効果的に達成するため、施設のレイアウトや広報戦略を見直すこと。
対応・改善策実施状況、取組の成果	・来館者数や売上の増加に向け、館内中央にあった休憩スペースを最奥部に移動し、来館者が多くの商品を見ることができるよう見直すなど、不断の検討をしているところ。 ・令和8年度には防犯上の観点から、入口付近のレジの配置変更を実施した。 ・ぶらり嵐山を会場に、就労継続支援事業所の合同販売実務研修を行っている。中小企業診断士等の専門家が講師となり、商品の魅力向上、展示方法について改善の機会とするとともに、SNSを活用した商品のPRも助言を受けているところ。
なお残る課題・問題点	◆施設取組の更なる発信 ◆施設設備に修繕箇所が発生
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□施設のレイアウト変更等、展示や商品企画にも工夫が見られ、運営改善が進められている。 □高齢者や障害のある方への理解を得ると共に、社会参加の促進に寄与する場としての機能を果たしている。 □設置目的の意義を発信しながら、自主事業の拡充に努め、更に収益性を上げられないか。
京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎引き続き設置目的の意義を発信し、更に施設全体の充実を図ること。 <今後の対応> ○来館者数や売上の増加に向け、ギャラリースペースの更なる活用促進を図る。 ○設置目的の達成に向け、利用者ニーズを踏まえながら、施設の魅力向上・情報発信と収益力の強化を図る。